

檜木、小谷周辺の礫岩層

富山国際大学の脇を流れる黒川は、福沢から上流へ向かうとすぐに枝分かれをします。これを榎ヶ原方面へ向かい、榎ヶ原集落を過ぎると、礫岩層の露頭がところどころで見えるようになります。この礫岩層は、今から約1600万年前に堆積した檜の木礫岩部層（黒瀬谷累層の一部）です。礫は、安山岩、石英斑岩、花こう岩などからなる円礫です。

